

赤潮情報第30号 (八代海：カレニア ミキモトイ 注意報 続報)

熊本県水産研究センター 浅海干潟研究部
TEL0964-56-2613 FAX56-4533

八代海でカレニア ミキモトイが確認されています

本日、熊本県が調査したところ、天草市楠浦地先でカレニア ミキモトイが 250 細胞確認されました。今後の天候や海況によって増殖する可能性がありますので、注意が必要です。

また、楠浦地先ではゴニオラックス ポリグラマによる赤潮も発生しています(海水 1ml 当たりの細胞数は下図を参照して下さい)。

本種には魚毒性はないと言われてはいますが、高密度に発生した場合、海水の溶存酸素の低下を引き起こすと言われてはいます。

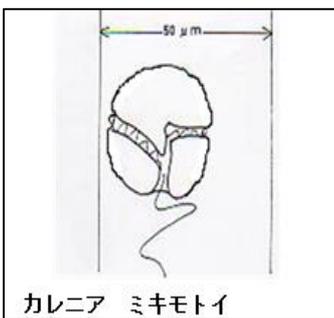
周辺海域で養殖・蓄養をされている場合は、海の色の変化や、飼育生物の様子に十分注意してください。

※数字は水深 0m, 5m, 10m, 15m 層の海水 1mL 当たりのカレニアの細胞数です。

()の数字はゴニオラックス ポリグラマ

×印: 全ての採水層でカレニア及びゴニオラックスが 0 細胞の調査点。

●印はゴニオラックスポリグラマによる着色域です。



カレニア ミキモトイ

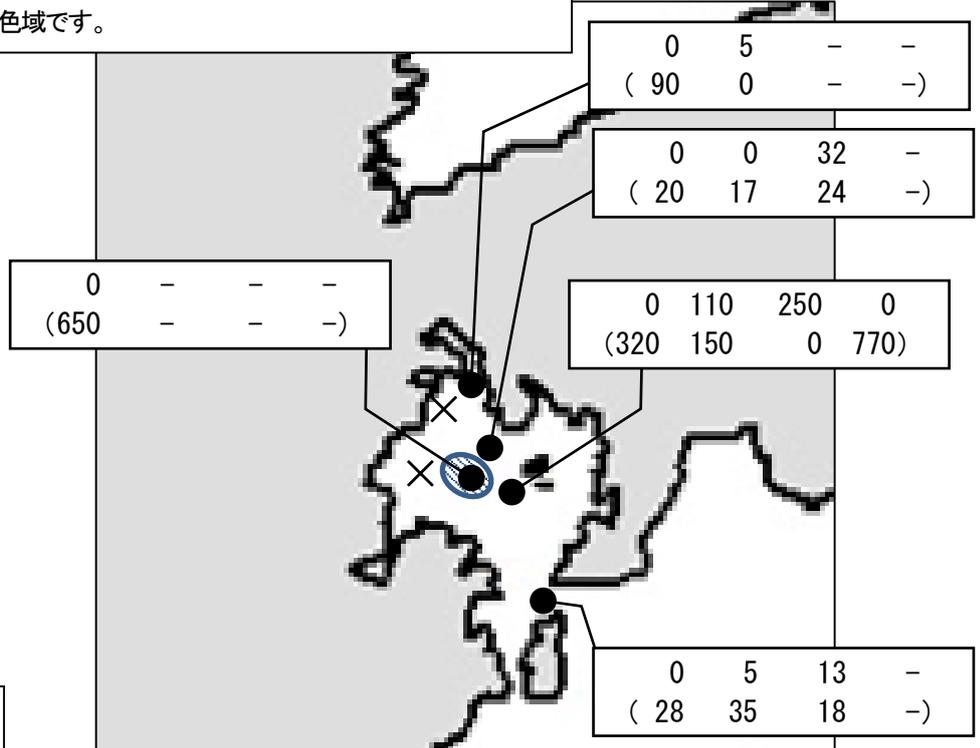


図 赤潮発生海域

- ・ 警報細胞数 : 1000 細胞/mL
- ・ 注意報細胞数 : 100 細胞/mL

調査結果については、赤潮情報 ホームページや赤潮ネットでも確認できますので、ご利用ください(ホームページの更新に時間を要する場合があります)。

赤潮情報 ホームページ <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/95/1794.html>

赤潮ネット https://akashiwo.fra.go.jp/public/kaikunit.php?qkaiku_id=1&sid=1

赤潮情報 ホームページ



赤潮ネット

